

令和 6 年 7 月 2 5 日

公 告

長瀬産業健康保険組合
理事長 山岡 徳慶



令和 5 年度事業報告、収入支出決算、並びに財産目録について

令和 5 年度事業報告、収入支出決算並びに財産目録について
令和 6 年 7 月 1 8 日開催の第 1 3 9 回組合会において承認されましたので、
別紙のとおり、公告します。

以上

令和5年度 事業報告書

令和5年度は、第2期データヘルス計画の6年目（最終年度）であり、第3期特定健康診査・特定保健指導6ヵ年計画でも6年目（最終年度）であった。

昨年に引き続き、第2期データヘルス計画の重点課題である「医療費の抑制」、「がん等の高額な医療費の適正化」、「メンタルヘルス対策」に着目した保健事業を実施した。

保険給付においては被保険者の薬剤支給、療養費、傷病手当金、被扶養者では第二家族療養費が昨年比で10%以上の大幅な増額となった。また他の項目でも増加したものがあるものの、高額療養費、高齢者の給付を含む、他の項目では概ね減少となり、全体では昨年と比較し0.3%の微増に収まった。

医療費の抑制・適正化対策として加入者に向け、けんぽニュースの配信（3回）、保健事業のご案内を自宅へ送付した。

個人向けポータルサイトのマイヘルスウェブには、医療費のお知らせ、ジェネリックの差額通知、健診結果といった健康情報や、ウォーキング大会、家庭用常備薬斡旋事業など、イベント情報を定期的に掲載した。

この連絡事項やイベントに関してはマイヘルスウェブの他に健康保険組合ホームページ、社内ポータル、フロアサイネージを活用し周知に努めた。

事業所との連携強化及びコラボヘルス推進を目的とした健康保険推進委員会を11月27日に開催し、18事業所から計33名の担当者に参加いただいた。また3月25日には事業所担当者講習会を開催し、27事業所から計60名の担当者に参加いただき、保健事業の内容や現状、法改正等について説明し情報共有を行った。

その他に厚生労働省から届く各事業所の「健康スコアリングレポート」、日本生命から届く「事業所別分析レポート」を共有し、各事業所の保健事業推進をサポートした。

来期は特にマイナ保険証の登録促進やその利用促進に向け、事業所担当者との連携がとても重要になるので引き続き各事業所担当者とは情報を共有し連携強化を図りたい。

メンタルヘルスでは、メンタルを原因とする傷病手当金の受給者が増加している。職場においては仕事内容や人間関係、職場以外でも人間関係が主な原因によるものと考えられる。事業所でのメンタルヘルス講習会費用の補助金やプライバシーを守りながら無料で相談できるファミリー健康相談や面接相談窓口の案内文を送付し、その内容を周知することで疾病予防として備えた。

以上

令和 5 年度 収入支出決算

【一般勘定】

昨年度と比較し、令和 5 年度決算の収入においては、被保険者数が前年から 9 名増えて 4,998 名となり、また平均標準報酬月額が 3,873 円増え、467,263 円となったものの、賞与支給額が 804,537 千円減ったことによる保険料収入の減少や繰入金を減らしたこと、また国庫補助金収入や財政調整事業交付金が大きく減少したことで、前年比で 219,180 千円減少し、収入合計は、3,395,686 千円となった。

支出においては、保険給付費が 4,154 千円、保健事業費が 4,844 千円増加したが、納付金が▲167,138 千円と大幅に減少し、支出合計は前年比で 158,308 千円減少し、総支出は 3,311,061 千円となった。

その結果、収支差引残高は、84,625 千円となった。

収入の主な内訳は、健康保険料収入及び調整保険料収入の他に別途積立金の繰入金が 150,000 千円、特定健診の補助金である国庫補助金収入が 6,906 千円、高額な医療費に対して返戻される財政調整事業交付金が 12,632 千円、また、雑収入として 7,269 千円あった。

支出の主な内訳は、保健給付費が前年に比べて 4,154 千円増加し 1,449,704 千円、保健事業費が 4,844 千円増加し 162,456 千円となり、納付金が令和 4 年度の納付金概算の返戻があり 167,138 千円減少し 1,587,939 千円となった。

【介護勘定】

収入においては、平均標準報酬月額が前年から 7,397 円増えて 512,769 円となったものの、保険料を払う第 2 号被保険者たる被保険者の数が、前年から 29 人減少し、3,064 人となり、また賞与支給月数が 0.4 ヶ月減少したため、保険料収入は、前年から 9,337 千円減少し、432,532 千円となったが、準備金から 30,776 千円繰入れしたため収入合計は前年から 21,440 千円増加し、463,310 千円となった。

支出では、介護納付金が前年から 36,935 千円増加し 460,987 千円となり、収支差引残高は、2,323 千円となった。

以上

長瀬産業健康保険組合財産目録

令和5年度末現在

1. 一般勘定

種 別		数量	金額又は価格	備 考
準備金	金員	銀行預金	534,798,231 円	定期預金、普通預金
		決算残金処分	0 円	
		基金委託金	16,854,000 円	大阪府社会保険診療報酬支払基金
		計	551,652,231 円	
別途積立金	金員	銀行預金	1,483,991,587 円	
		決算残金処分	84,501,916 円	
		計	1,568,493,503 円	
退職積立金	金員	銀行預金	0 円	
その他の資産		土地	1,248,000 円	軽井沢オーナーズビラ
		建物	1 円	軽井沢オーナーズビラ
		備品	7,790 円	ファームバンキング用PC 食堂テーブルセット
		その他	1,500,000 円	紀州鉄道契約保養所保証金
		計	2,755,791 円	
合 計			2,122,901,525 円	

2. 介護勘定

種 別		数量	金額又は価格	備 考
準備金	金員	銀行預金	63,428,812 円	定期預金
		決算残金処分	2,323,016 円	
		計	65,751,828 円	